

## 高山・市民の森 森林教室実施報告書 「9月 小鳥の巣箱づくり」

1. 実施日時： 令和元年 9月 8(日) 10時～14時
2. 場所： 静岡市・高山市民の森
3. 参加講師： NPO 森林インストラクターしずおか 担当： 小久保、高橋  
アシスト： 青野、内野、大石、越智、小嶋、佐野、杉山、矢下
4. 参加者 22人（7家族、 大人13人 子ども9人）
5. 概要

### (1) 午前 森林散策

- ◆ 台風15号が迫って来る中だったが、雨風は夕方からという予報なので予定通りの実施になった。幸い昼の時間帯は晴れて好天、下界は気温34℃という残暑だったが、高山では過ごしやすかった。天気が崩れる前に終了を目指すことにし、散策は通常より30分早く切り上げることにした。
- ◆ 参加者には4つの班に分かれて頂き、それぞれに2～3人の講師がガイドとしてついた。多くの参加者が高山には来たことがある由だったが、「初めて来た」という家族も1組いた。今回は時間の制約もあり、多くの班では池の周りや中間展望台を巡るコースを歩いてもらった。しかし1班だけは参加者の希望で山頂を目指すことになり、最短コースをとって急ぎ山頂まで往復した。
- ◆ 歩き始めてすぐにカモシカに出会った。森の恵のすぐ近くだったので、大半の参加者が目にするのができ、中には「野生動物との遭遇は初めて」と興奮気味に話してくれた人もいた。
- ◆ この季節、花や木の実であまりめぼしいものがないので、植物の観察も今一つ面白みに欠けるのが辛いところだ。しかし、例えば「スギとヒノキの見分け方について教えて欲しい」などと質問してくれるお母さんがいたりして、思わず解説にも力が入ってしまった。山頂に向かった班では、急ぎ足の中でもコブシの実を拾ったり、ミズメやクロモジ、ヤマコウバシなどの香りを楽しんだりしながら歩いた。色づき始めたヤブデマリやキブシの実にも出会った。またこうした植物に思わぬ薬効があることや、この時期に目立つクサギの花には雌性期と雄性期があることなど、少しばかりだが自然の奥深さも知っていただいた。
- ◆ 好天だったので中間展望台まで上がると静岡の市街がよく見えた。我が家の方角を確かめたり、皆で大声を出してやまびこを聞いたりして一時を過ごした。山頂まで登った班ではお目当ての富士山が雲に隠れて見えなかったが、静岡の市街から伊豆半島まで見渡せる展望を堪能できた。

### (2) クラフト体験（小鳥の巣箱づくり）

- ◆ 今回は間伐材の杉板を材料とし、ノコで裁断、金槌とクギで巣箱を組み立てるという体験だ。予め出入り口と水抜き孔は開けておいた。
- ◆ 仕事を始める前に、実際にその巣箱でシジュウカラが営巣し、雛が巣立って行くところを撮影した動画を見てもらった。「市街地の普通の家（我が家）の庭木に架けた巣箱で撮ったもの」と説明すると、「それなら我が家でも」という期待が膨らんだのか、「巣箱を架ける向きは？」「どんな木がよい？」などと、質問が相次いだ。これから作る巣箱にも、期待が増したに違いない。
- ◆ 今回はお父さんの参加も多く、家族で力を合わせて作業する微笑ましい姿をあちこちで見ることができた。初めてノコギリを引いてみたり、クギを打ってみたり子ども達も多かっただろう。材料が柔らかい杉材なので裁断は難なくできた。その後図面に従って組み立ててもらったのだが、中には少し手こずった家族もいたようだ。一部は講師の助けも借りながら、全員が図面通りの巣箱を手にすることができた。最後にそれぞれの作品を手を、記念写真を撮ってお開きにした。

（記録 小久保）

## 森林散策の様子



それぞれ班ごとに散策に出発



あっ、カモシカがいる！



ほんとだ！



木の葉のお勉強



静岡の街がよく見えた



展望台から大声で「オ〜〜イ」



山道も、頑張って歩いたよ



あそこの木にモリアオガエルが卵を産むんだよ



ほら、これがアカハライモリだ

巣箱づくり：寸描



初めてノコギリにチャレンジ



ここが、こうなって...



こうかしら？



ボクにも打てるよ



次は、これをつけて...



私もやってみる



だんだん箱らしくなってきた



臨時託児所も開設した



出来たぞ、小鳥の巣箱！